

京都精神保健福祉士協会

きょうと通信

NO.107



2014年 12月発行

事務局：医療法人 つばき医院内
〒602-0895 京都市上京区上御霊前町 410
TEL 075-411-1011
FAX 075-411-1020
e-mail office@kyo-psw.org
HP <http://www.kyo-psw.org/>

【災害支援検討委員会ワークショップのご案内】

京都精神保健福祉士協会および日本精神保健福祉士協会京都府支部合同企画
今年8月の豪雨被害の影響により、10月の開催予定を延期していましたワークショップを改めて企画します。詳細は後日お伝えします。ぜひご予約ください！

日 時：2015年2月28日（土）14:00～17:00（予定）

テ ー マ：

身近な災害を語るつどいin福知山

第一部：「災害時の実際とボランティアセンターの対応」

福知山市社会福祉協議会 災害ボランティア担当者

第二部：参加者および関係者からリレートーク

会 場：市民交流プラザふくちやま 3階 会議室3-3

（京都府福知山市駅前町400番地 TEL：0773-22-9551）

<http://www.city.fukuchiyama.kyoto.jp/topics/entries/004360.html>

*併設の駐車場には限りがありますので、周辺の有料駐車場をご利用いただくか、公共交通機関をご利用ください。

“災害は「まさか」ではなく「必ず」起きる”

福知山は昨年の台風に引き続き今年8月の豪雨でも大きな被害を受けました。第1部は実際の被害状況やボランティアセンターでの取り組みについて福知山市社会福祉協議会の方にお話を伺い、第2部では参加されるみなさまの「その日」や「その時」「その後」などをお聴きしながら、日頃の備えや協会としての取り組みについて考えていきたいと思えます。まずはつながりを作ることから始めませんか？

（災害支援検討委員会）

【10月例会報告】

テーマ：

認知症の基礎を学ぶ ～PSWとして知っておきたい、関わりとサービスのしくみ～

日 時： 2014年10月24日(金) 19:00～21:00

場 所： キャンパスプラザ京都 第1会議室

参加者数： 37名（うち、非会員参加者12名）

10月例会は、認知症に関わる精神保健福祉士が、その立場で学んだことや関わっている実践について伝える場というコンセプトで行なわれました。一人でも多くの方に認知症の方について知っていただき、よりよいケアができる社会になってほしいとの想いを込めて企画しました。

- ＊「認知症の理解と接し方について」 いわくら病院 川上尚子さん
- ＊「認知症の人への精神科医療について」 宇治おうばく病院 福徳理恵さん
- ＊「介護保険制度について」 成逸地域包括支援センター 上林里佳さん
- ＊「新しい取り組み～認知症初期集中支援チームと認知症カフェについて～」
京都府立洛南病院 山内陽子さん

まず初めに川上さんには、認知症の種類や中核症状・周辺症状など基本について話していただきました。認知症の方との関わりで大切にしたいことや具体的な会話の仕方、環境づくりについて、実際にあったエピソードを織り交ぜながら話していただき「関わり方についての講義は現場での支援にすぐ活かせる内容で非常に勉強になりました」といった感想を頂きました。



次に福徳さんには、専門外来や認知症疾患医療センターの存在から、医療機関で行なわれる診察や検査、治療について話して頂きました。早期支援の必要性や認知症治療病棟の現場についても学ばせて頂きました。「認知症の患者さんへの対応をできる限りチームで見直すことへの必要性を感じました」という感想をいただきました。

続いて上林さんには、地域包括支援センターの役割や介護保険制度の基礎から教えて頂きました。利用方法や利用者負担額、サービスの種類など普段わかりにくいと感じる部分も、事例の流れの中で教えていただき「オフィシャルな制度は、内容の説明に加えて臆せず現場で感じられていることも盛り込まれていてとてもわかりやすかったです。」という声が聞かれました。



最後に山内さんには、宇治市での取り組みを中心に認知症初期集中支援チームと認知症対応型カフェについて話していただきました。医療機関や地域包括支援センター等の多職

種で早期に支援に取り組む流れやカフェの活動をスライドで分かりやすく説明していただき「ぼんやりと理解していたことや新しい取り組み等について多くの情報を学べて非常に有意義な時間でした」という感想をいただきました。

アンケートからは「全員の方がその領域のエキスパートで、本当に勉強になりました。」「認知症の疾病理解からサポートまで、幅広い話が聞けてとても勉強になりました。半日～一日研修にしてもいいような充実した内容だったと思います。」「認知症について理解が深まり参考になりました。幅広い内容で、各分野をもう少し時間があればなおよかったと思います。」という声をいただきました。今回は認知症の基礎を学ぶというテーマが、4名の講師の皆さんから多くのことを学ばせていただき、非常に充実した例会になりました。

講師のみなさま、ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。

(研修部)

【リレー職場紹介】



京P子ちゃん

今号は…

一般社団法人 いばしょ 小出享一さんです。

Q1.入職のきっかけと職場のことを教えてください！

「あなたの主な仕事は、なんですか？」と聞かれると困ってしまう。他人に聞かれてもうまく答えられた試しがない。私の職場は、一般社団法人の「独立型社会福祉士事務所」で仕事の内容に応じて、それぞれ社会福祉士・精神保健福祉士・介護支援専門員の資格を使い分けながら活動している。私の主な仕事・活動については、大学及び専門学校などでの福祉教育関係の講師及び研究活動、居宅介護支援事業所の介護支援専門員としての活動、行政の審査会や認知症のグループホームの運営にも関わっている。多種多様の仕事であり、一言では答えられない。

現在、社会福祉士は全国で約 13 万人いるが、従来の組織に所属せずに独立で活動している社会福祉士は約 800 名といわれている。私もその中の一人である。独立型の社会福祉士として、長く活躍されている T 氏に「業務の内容が様々あって、他人にうまく伝えられないことが、独立型社会福祉士の証であると思う」と言われた時は、全く同感だった。

私は、平成 24 年に日本社会福祉士会の研修受講後、独立型社会福祉士に登録し、「社会福祉士事務所 居場所」を設立して活動してきた。独立より 2 年が経過し、活動の幅をもっと広げるために一般社団法人 いばしょを平成 26 年 5 月に大学院の後輩であるもう一人の理事と共同設立した。「社会福祉士事務所 居場所」は法人の一部門として組み込むことにした。法人設立の結果として、個人事務所の時には、受けることが出来なかった仕事が可能になり、福祉系学会の事務委託の仕事や各法人からの講演依頼が舞い込んでくるようになった。福祉系学会の事務委託の仕事では、就労支援の一環として、年に 3～4 回であるが、高次脳機能障害者などのスポット雇用を行っている。

Q2. 仕事をする中でのやりがい、悩み、嬉しいことなどを教えてください!

これから私たちが取り組もうとしているのは、私の障害当事者としての体験をもとにした障害者の「居場所」づくりの活動と就労支援、もう一人の理事の体験をもとにした若年介護者への支援である。「居場所」づくりの活動では、障害等があっても地域のなかで「居場所」を確保できるような活動がしたいと思っている。若年介護者への支援では、若年認知症や若い脳卒中などの患者さんが増加しているが、それに伴い子ども世代の20～30代の若年介護者も増加している。自分の生活や仕事を抱え、親を介護していくのは並大抵のことでない。また相談できる相手もおらず孤立しがちである。これら20～30代の若年介護者の支援も自分たちが出来ることから行っていきたい。

Q3.最後に…仕事を通じて PSW として考えていることはどんなことですか?

一般社団法人 いばしょの名称の由来は、「人は誰でも居場所が必要である」という思いを込めても「いばしょ」とした。新しい制度やサービスを時代に合わせて作っていくのも、社会福祉士や精神保健福祉士の役割であると思うので、頑張っていきたい。

【2014 年度第 4 回役員会議事概要報告】

日時 2014 年 10 月 7 日 (火) 19:20～22:40 場所 まるいクリニック
出席) 石崎・大石・大塚・川上・斉藤・知名・西村・藤井・松本・宮崎
欠席) 橋本
司会) 知名 書記) 斉藤

詳細は下記 URL にてご確認ください。

<http://www.kyo-psw.org/member/kapsw/media/1/20144thyakuinkaigijigaiyo.pdf>

【事務局からお知らせ】

入会

- 1) 丸一 俊介さん 所属) 特定非営利活動法人ほっととうがらし
地域活動支援センターほっとハウス
- 2) 樋口 耕一さん 所属) 京都博愛会病院 在宅支援課
- 3) 山本 祐里江さん 所属) 特定非営利活動法人 ゆりかもめ
- 4) 藤井 朋広さん 所属) 医療法人 栄仁会 京都駅前メンタルクリニック
復職トレーニングデイケア
バックアップセンター きょうと
- 5) 内田 雅也さん 所属) 一般財団法人療道協会 西山病院 医療福祉相談室
- 6) 山本 珠由さん 所属) 一般財団法人療道協会 西山病院 医療福祉相談室

- 7) 山本 剛郎さん 所属) ニューワズ株式会社 介護事業部
- 8) 小野 美津季さん 所属) 一般財団法人 療道会 西山病院 医療福祉相談室
- 9) 森口 めぐみさん 所属) なし

退会

- 1) 奥田 千草さん 所属) 医療法人三幸会
就労支援センター ヒューマンプラス
- 2) 村社 孝子さん 所属) なし
- 3) 田辺 友幸さん 所属) 医療法人三幸会
就労支援センター ヒューマンプラス
- 4) 辻森 あゆみさん 所属) 京都府公立大学法人 京都府立医科大学附属病院
医療サービス課 医療相談担当

8月26日現在会員数 353名→11月25日現在会員数 358名

※名簿を9月初めに送付しております。発行前に事務局に届いている情報をもとにしておりますので、現在の所属等と異なる場合がございます。その際には事務局まで変更（メール・ファックス・ホームページ）のご連絡をお願いいたします。

また、送付は主にメール便を活用しております。転居などで送付先を変更とされた場合、郵便の場合は転居届を提出されていれば転送されますが、メール便は基本的に事務局に戻ってきます。なるべくきちんとお手元に届けたいと思いますので、郵送物の送付先の変更も速やかに事務局までご連絡をお願いします。

※メール配信についてお願い

現在、通信や新着情報など、メーリングリスト（ML）にて配信しております。配信先のメールアドレスの変更をされた際は事務局までご連絡をお願いいたします。

なお、ML形式の配信のため迷惑メールと判断されることがあるかもしれません。受信側の設定も併せてご確認をお願いいたします。

最近届かないとお気づきの際は、事務局までお問い合わせください。

※会費納付のお願い

今年もあとわずかとなりました。先日名簿送付の際に、その時点で未納の方には振込用紙を同封しております。なるべくお早目に会費の納付をお願いいたします。ご不明な点は事務局にお問い合わせください。

振込先：郵便振替

加入者名：京都精神保健福祉士協会

口座番号：00960-7-120392

（青枠の振込用紙をご使用ください。振込手数料はご負担をお願いします）

トピックス

【Facebook ページのお知らせ】

この度、研修部の Facebook ページが出来ました！

<https://m.facebook.com/profile.php?id=312624015582710>

Facebook をやっていない方もアクセスして頂けます。

研修部からの情報発信を目的に作成いたしましたので、コメント欄への返信は致しかねます。事例等の扱いのある例会等、一部 Facebook ページからはお知らせできない案内もありますが、今後どんどん活用していければと思います。

みなさまどうぞご閲覧・ご活用下さい。

(研修部)



ほっとひと息コーナー



ハロウィンが終わったかと思うと、街は一瞬でクリスマス一色に変わりましたね。

可愛い雑貨が並んでいたり、クリスマスソングが流れてくると、いくつになってもやっぱりワクワクします。それと同時に、何だか気忙しく思う今日この頃。年末年始の行事予定や、年賀状の準備、大掃除のプランなどなど…毎年のことですが、バタバタして気がつけばお正月です。

「あー、何からしよ～」と、ちょっと頭が疲れてきたら、かわいくて美味しいものに癒され“ほっとひと息”。ふらっと出かけた買い物先で出会った、スノーマンのドーナツ。「まあ、ちょっとゆっくりしなよ～」と言ってくれてるような、そんな気分になりました。

今年も何だかんだで残りわずか。気持ちばかり焦らず、無事に新年を迎えたいものです。

堀 千春

【編集後記】

木々が色づいたと思ったらもう息が白くなりました…2014 年最後の編集も無事に終え、残りの日々も寒さに負けず元気に過ごして新年を迎えたいと思います。（平野美菜）

少し早いですが、皆さん今年も一年間お疲れ様でした。来るべき新しい年が皆さまにとって良き年となりますように…☆新年もどうぞよろしく願いいたします。（堀 千春）